



## 2026♡イベントカレンダー

( 営業時間 11:00 ~ 15:00 カフェ/カフェ営業日 )

1	日		16	月	
2	月		17	火	カフェオープン
3	火	カフェオープン	18	水	
4	水		19	木	
5	木		20	金	カフェオープン
6	金	カフェ/クラフト教室	21	土	
7	土	カフェ/二胡教室	22	日	
8	日		23	月	
9	月		24	火	カフェ/二胡教室
10	火	カフェオープン	25	水	
11	水		26	木	
12	木		27	金	カフェ/二胡教室
13	金	カフェ/二胡教室	28	土	カフェ/健康体操 二胡教室 10:00~ 野菜販売
14	土				
15	日				



### < 本末浩司先生 健康体操 (けんそう倶楽部) >

2/28 (土) 10:00 ~ 11:00

奈良市社会福祉協議会、  
若草地域包括支援センターにご協力いただきます



### < 森脇眞理子先生 二胡教室 >

2/7・13・24・27・28

中国の伝統的な美しい擦弦楽器。  
まずは見学だけでもお気軽にどうぞ!



### < 久賀裕子先生 クラフト教室 >

2/6 (金) 11:00 ~

開くとパッと飛び出す手作りのカード!

参加費: 300円



### < 田原新鮮野菜販売 >

2/28 (土) 10:00 ~

無くなり次第終了です。



### < ソプラノとピアノによる午後のひとときほっとコンサート >

3/7 (土) 14:00 ~

**開催予定!**

地域の皆様、どうぞお楽しみに!



認知症疾患医療センター長の先生のコラムです。

「もの盗られ妄想の対象として、いつも「お嫁さん」が登場しますが、他にも対象になる人たちがたくさんいます。意外に多い対象となるのが、私たちの仲間である介護スタッフです。在宅ではホームヘルパーなどがその対象となります。時にはおとさんだったりします。少し深読みしすぎという方もいらっしゃるかもしれませんが、介護スタッフだと大抵しっかり者のスタッフが対象になったりします。お隣さんでもご自身よりよい身なりをして上品な方が対象になるような気がします。なぜでしょうか。

介護保険制度はその低下した能力に依じたサービスを提供する点でも優れた制度だと言えますが、一面では「低下した能力に依じて」という点で残酷な制度ともいえます。できなくなったことを人にしてもらう、屈辱的な話ではないでしょうか。お年よりたちは、それを手際よくやってくれる人に対して「ありがとう」とか「ごめんなさい」という言葉しか出せなくなってしまう。結局、役に立たないという自己の存在不安が呼びおこされ続けるのです。朝から晩まで「ありがとう」と「ごめんなさい」の中で生きてゆくのです。そこから生まれる情けなさ、それをそつなくこなす介護スタッフに対するうらやましく思う気持ち、それが嫉妬心となり、あら探しから生まれるもの盗られ妄想、これらの連鎖を垣間見ることができなくもないのです。

ならば、私たち自身が先に、お年寄りに対して「ありがとう」という言葉を発することが、有効な介護手段として浮かびあがってきます。昔話をしてもらってありがとう、手伝ってもらってありがとう、ねぎらってもらってありがとう、心配してもらってありがとう、このくりかえしが、お年寄りの自己存在価値を、少しずつとりもどす、きっかけになると考えます。」

当法人でもこのような経験がありました。ヒントをいただいたような気がいたします。